

令和元年 第9回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日 時 令和元年（2019年）9月12日（木）午前10時00分～午前10時40分

2. 場 所 総合教育センター 2階 講座室

3. 出席者 <教育委員会>

教育長	木下 誠	教育委員	秋田 久子
教育委員	江原 礼子	教育委員	川崎かおり
教育委員	川畑 徹朗		

<事務局>

教育次長	二宮 叔枝	総合教育センター主幹	永嶺 香織
教育総務部長	山中 茂	こども若者企画課長	藤澤 早苗
学校教育部長	佐藤 幸宏	社会教育課長	吉岡 督典
こども未来部長	大野 浩史	スポーツ振興課長	古結 孝広
生涯学習部長	村田 正則	図書館長	中田 正仁
教育長付参事	多田 勝志	人権教育室主幹	森口 真一
学校教育部副参事	廣重久美子	総合教育センター主幹	永嶺 香織
総合教育センター所長	太田 洋子	保健体育課主査	吉川 暁宙
職員課長	植松 俊二	教育政策課長	木村 克治
施設課長	宮木 哲男	教育政策課副主幹	石田 亮一
学事課長	蓼原 惠	教育政策課	寺内 みこ

4. 欠席者 なし

5. 傍聴人 なし

6. 議 事

(1) 開会宣言 木下教育長（午前10時00分）

(2) 日程報告 木下教育長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員はこれを了承。

日程第 1 令和元年度第8回定例会会議録の承認

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議案第55号の審議

日程第 4 議案第56号の審議

(3) 令和元年第8回定例会会議録の承認（日程第1）

令和元年第8回伊丹市教育委員会定例会（令和元年（2019年）8月22日（木）開催）

会議録については、全委員一致でこれを了承。

(4) 教育長報告（日程第2）

教育総務部長より「9月分人事報告」・「8月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「8月分の寄附採納報告」・「8月分行事実施報告」について、学校教育部長より学校教育部及び市立伊丹高等学校の、こども未来部長よりこども未来部の、生涯学習部長より生涯学習部の、教育長付参事より人権教育室の「8月分行事実施報告」・「10月分行事実施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

江原委員

6-4ページの教育支援センター「やまびこ」通館児童生徒統計について。2学期が始まったので、子どもたちの様子を教えてください。

総合教育センター主幹

夏休みの前半に5日と後半に4日、学習会を実施した。夏休みが明けての子どもたちの様子だが、8月の登校日は3日あり、半数の子どもたちが学校に登校できた。9月10日までについては、41.6%の子どもたちが登校できている。現在学校では、体育大会の練習等で集団行動をとる機会が多く、そのことから学校に行きにくいと感じている子どももいるようだ。

江原委員

半数の子どもが学校に登校できているということを楽しそうに思う。「やまびこ」を覗くと、理科の実験や、明日はお茶会もあるということで、子どもたちが他の子どもや先生と交流を深めるなどの活動にも取り組んでいる。多様な活動を取り入れて、人間関係づくりを進めてくださっていることに感謝する。また、学習指導についても、ベテランの教員が丁寧に対応していて有難いと思う。やまびこでの取組が学校復帰につながることを願っている。

13ページの保健体育課の行事实施予定について。3日（木）に予定されている第54回伊丹市小学校連合体育大会に関連してお伺いする。各学校では体育大会や運動会の練習が始まっている。9月になったが、まだ気温も湿度も高く、練習実施の判断や練習方法の検討に苦慮されていると思う。学校の状況を教えてください。

保健体育課主査

9月3日（火）の体育担当者会において小・中・特別支援学校の担当者で会議をした。熱中症対応マニュアルを活用して、熱中症チェッカーを用いた暑さ指数の確認や水分・塩分の補給方法、練習計画の見直し、練習時間の工夫、活動場所の検討等について説明した。その後各学校の取組を報告し合い、ミストファンやミストシャワーの有効活用、テントや遮光ネ

ットの設置等を確認した。テント等を設置する際には、風による転倒を防ぐための対策が必要だということも確認した。

江原委員

練習期間だけでなく、体育大会当日のことも言ってくださったが、体育大会当日は、1日中外にいるため、より注意しなくてはならない。これから涼しくなればいいが、毎年このような状況が起きると思うので、他市町の動きを見ながら、校園長会等とも連携して、体育大会の開催時期も含めて議論を深めていくべき課題だと思っている。

生涯学習部の取組について。鈴原小学校を訪問した際に、教室に生涯学習部関連の行事に子どもたちが参加して作ったであろう作品が並んでいて、家庭学習の助けになっただろうと想像し、感謝している。

秋田委員

感想を4つ申し上げる。1つ目は、1-2ページの人事報告について。要望を申し上げる。「3. 市内学校園・こども園・保育所園における職員の休職・休暇等の状況」の表について。私たちが常々、子どもたちの発達段階を見通して考えていくという姿勢を意識していく意味でも、掲載する順番をこども園、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校というふうにしていただけたらと思う。

6-3ページの授業力向上（カリキュラム）支援センター活動状況統計について。8月の利用人数が87人というのを見て、先生方が休むべきときに休んで、めりはりをつけて仕事をしておられると感じた。同時に図書の貸出冊数等を見ると、自主研修は熱心にされていることが分かる。めりはりをつけて、資質向上を図るという意識をしっかりとっておられることが感じられて、誇らしく思う。

16ページのこども未来部の行事実施報告について。内容を拝見して、準備のために大変な忙しさだと思った。先日の教育トークで、参加者の方から「伊丹市の幼児教育の体制は変わったけれども、参加者は変わっていない。全ての子どもたちのために幼児教育を充実するということであるから、私立幼稚園や保育所・こども園からも出ていただくのがよいのではないか。」というご指摘をいただいたことをお伝えする。

22ページの中央公民館行事実施報告について。生涯学習部の行事はいつもタイトルを見るだけでも興味を惹かれているが、「②人権・平和講座」については、今話題になっている項目も入っていて、非常に充実していると思う。今後のことだが、アジアのなかの日本という視点も大切ではないか。今は、被害者としての苦しい戦争体験が主の反戦という意識になっている。歴史を多面的に理解するために、様々な立場の人から話を聞いて、

学習を進めることも必要になると思う。更にもうその際に、私の個人的な発想だが、例えば、SNS等で炎上している状況などについても併せて学ぶことができたなら、人権の視点でのスマートフォン等の使い方や情報収集に対する注意喚起につながると思う。そうすると、平和学習が立体的になり、我が事として考えるようになると思うし、教育委員会の色々な所管が多様な切り口で注意喚起を促すことができると思う。今は中学生でも「炎上」ということが身近になっている。発信元が特定されて、その後の人生でしんどい局面に立たされることのないように、きちんと考える機会を与える取組が必要だと思う。

(5) 議案第55号の審議（日程第3）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第55号 学校運営協議会委員の委嘱について」を可決。

(6) 議案第56号の審議（日程第4）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第56号 伊丹市子ども・子育て審議会委員の委嘱または任命について」を可決。

(7) 閉会宣言

木下教育長（午前10時40分）

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育長 木下 誠

伊丹市教育委員会委員 江原 礼子